

近代化産業遺産 明治浪漫探訪ツアー

めがせ日本遺産
銀の馬車道・鉱石の道

2つの近代化産業遺産「鉱石の道」「銀の馬車道」を同時に巡るバスツアー

本ツアーは鉱石の道ガイド及び現地ガイドが2つの道をご案内いたします。詳しくは鉱石の道ホームページ(<http://koseki-michi.com>)をご覧ください。

明延・神子畑・生野の3鉱山をつなぐ「鉱石の道」、生野鉱山から飾磨港(現姫路港)をつなぐ「銀の馬車道」。生野鉱山を接続点とした2つの「道」は我が国の近代化を象徴する物語でもあります。それぞれの道には多くの産業遺産が残されており、日本の近代化を夢見た人たちの思いが宿っています。産業遺産の壮大な歴史と先人の思いに触れる旅に出かけましょう!



ランチは
生野
ハヤシライス!

写真はイメージです。

実施日
11/20
(日)

参加費
4,000
yen

募集人数
40名
先着順

申込方法

詳しい旅行条件書をご用意しておりますので、お申込みの際ご確認ください。
旅行条件は下記によるほか、別途お渡りする旅行条件書、最終旅行日程表及び募集型企画旅行約款によります。

- ◆申込方法をよくお読みになり、お申込みください。
- ◆お申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。
- ◆定員数に達し次第締切りとさせていただきます。
- ◆発着場所までの交通費は含まれません。
- ◆安全上の理由により、ツアー中の飲酒はご遠慮ください。
- ◆交通事情により行程を変更する場合や遅れることもございますのでご了承ください。
- ◆パンフレット掲載の料理内容は変更になる場合がございます。
- ◆個人情報については『近代化産業遺産明治浪漫探訪ツアー』開催目的以外に使用しません。

取消料について

お客様は、次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。ただし、解除の申し出は、神姫バスツアーズ(株)の営業日・営業時間内にお受けします。

取消日(契約解除の日)	取消料(お一人様)	
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	21日目(日帰りは11日目)に当たる日以前	無料
	20日目(日帰りは10日目)に当たる日以降	旅行代金の20%
	7日目に当たる日以降	旅行代金の30%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%	
旅行開始日の当日	旅行代金の50%	
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の100%	

お申込み・お問合せ先
(旅行企画・実施)

神姫バスツアーズ株式会社 姫路支店 担当:藤原 大靖
☎ 079-224-1501

受付時間/月~金(9:30~18:00)※土日祝は休 〒670-0913 姫路市西駅前町1番地
(観光庁長官登録旅行業1938号 取扱管理者 渡部 崇)

イベント
企画

NPO法人J-heritage

後援

鉱石の道推進協議会

※お申し込みの際の個人情報については、本事業以外に使用しません。(イベント開催に当たり企画団体にのみ通知させていただきます)

近代化産業遺産 明治浪漫探訪ツアー

2つの近代化産業遺産
「鉱石の道」「銀の馬車道」を
同時に巡るバスツアー コーススケジュール

08:45～09:00 姫路駅南口集合



09:00 出発



09:15～09:30 飾磨港(銀の馬車道遺構)



10:10～11:10 福崎町三木家(河次郎ほか)



11:50～12:30 生野銀山マロニエ(昼食・お土産・トイレ)



12:40～13:40 生野銀山観光坑道



13:40～13:50 生野銀山(お土産・トイレ)



14:30～15:10 神子畑選鉱場跡(見学・お土産・トイレ)



16:15～17:15 明延探検坑道



17:20～17:30 あけのべ憩いの家(お土産・トイレ)



19:30 姫路駅南口

◆ 銀の馬車道



飾磨エリア

姫路市の南部に位置し、現在は姫路港となっている。飾磨津と呼ばれていたこともあり、古くから貿易港として栄えた。明治に入ると生野鉱山より産出された銀の積み出し港として、日本初の高産産業道路である生野鉱山寮馬車道とともに整備された。明治時代の倉庫の一部などが残っている。



福崎エリア

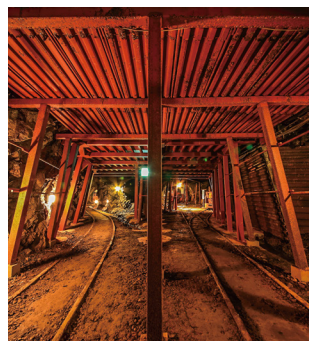
JR播但線福崎駅の東にある「辻川」と呼ばれる一画は飾磨港と生野銀山を南北に結ぶ旧生野街道(銀の馬車道)と、加西市の北条から夢前へ東西に抜ける旧北条街道が交差する交通の要衝として古くから栄えた町だ。現在も大庄屋・三木家住宅や民俗学の父・柳田國男の生家なども残されている。

◆ 鉱石の道



生野エリア

生野鉱山は1,200年の歴史をもつ、日本有数の大鉱山。江戸幕府の直轄鉱山として栄え、明治には日本初の官営鉱山となる。総延長はなんと350km、地下880mの深さに達する。閉山以降は、坑道の一部が一般公開されるほか、近代化の礎となった鉱山の歴史、鉱石標本等を展示している。



明延エリア

奈良・東大寺の大仏鑄造の際に、明延鉱山の銅が使用されたと言い伝えが残る古い鉱山。明治42年に錫鉱脈が発見されてからは「日本一の錫鉱山」として栄えた。閉山後は坑道の一部が「探検坑道」として公開されている。鉱車や削岩機などが残されており、作業時の姿を見ることができる。



神子畑エリア

神子畑鉱山閉山後は明延鉱山付属の選鉱施設となり、山の急斜面に東洋一の規模を誇る巨大な選鉱場があった。建屋の解体後は公園として整備され、隣りにはフランス人技師・ムーセの旧居が残る。また、国道429号沿いには鉱石輸送路の一部として架けられた日本最古の鑄鉄橋が残っている。

鉱石の道と銀の馬車道は
日本遺産の認定を目指しています。



鉱石の道
産・業・遺・産

明延・神子畑・生野

